

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁JOY		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年1月27日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人一人の児童が伸び伸びと過ごしながら、お友達や職員との関わり方を楽しみながら学べるように支援内容を検討している	・活動の内容は児童の個性に沿いながら皆で楽しめる様にしている	・活動内容が一定化しない様に務めている
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ピアノなどの楽器があると活動の幅が広がると思う	・環境要因	・代替えの物を用意はしている
2			
3			

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	縁JOY		公表日		2025年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	児童発達支援は1日に最大5名程度をお受けしています。療育室は2階を主としており、スペースは十分にご用意しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	適切である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	階段には手すりを設置している 収納の知育玩具や文具は収納場所に写真カードをつける等で、どこに何が収納されているかを分かりやすく掲示している	建物の構造上、バリアフリーにはなっていないが、今後は検討して行きたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	療育室は、家庭的な空間を保つ事で、心地よさに繋がっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	気持ちの切り替えが上手に出来る様に環境整備を行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	3	全職員で一緒に意見交換を行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	1年に一度、評価表のアンケートを依頼し、保護者様のご意向を把握する事で業務改善を行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員からの意見や気付きは、日々その都度発言してもらい全体で共有を行い、その内容に対しての意見交換を更に設け業務の改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	現在行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	研修は法令順守をしている。事業所内では毎月の会議、法人の企画では感染症予防を含む目の前の課題に対してその機会を設けている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	適切に迅速に支援プログラムを作成、公表を務めている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	ご利用児童の特性を踏まえ保護者様と面談などを定期的、課題が生じた際にはその都度行き遅延の無い分析に努め、計画書の作成を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	個々の児童に精通した者、関わる職員の全体で意見交換を行い、共通理解をした上で、ご利用児童に最適な利益を考慮した検討をしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	毎月の会議を通じて、計画書作成前は意見交換、作成後は周知を行い、統一した支援に努めている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	ご利用児童のご成長や保護者様からのご相談を受け止めフォーマルなアセスメントを行い、日々の行動観察でインフォーマルアセスメントツールを使用した確認を行うように努めている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	お子様の課題はそれぞれであり、保護者様の主訴のもと各支援内容を組み込んだ計画作成を具体的に設定した上で職員間で共有し、支援を行う様にしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	毎月の会議で意見を出し合い活動プログラムを立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	固定化はしていない	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	日々の体調やご利用前の学校での様子を確認した上で支援を行える様、サービス計画を作成し支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	支援開始前には朝礼を開き、児童の前日もしくは前日ご利用時の様子と当日の支援（計画書に沿う）を共有し、個々の児童に精通した職員への役割分担を精査して支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	シフト制の勤務体制である為に、当日の全職員で振り返りをする事は難しいが、その場合は翌勤務時やグループラインを通じて情報共有を欠かさない様にしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	保護者様と連携を図る連絡帳の記載、必要に応じた児童の記録を取る事を必然としており、検証や新たな課題に伴う改善を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	半年に一度、ご成長に伴う課題の状況に応じては半年を待たずに保護者様ご協力のもとモニタリングを行う事で、適切な見直しに繋げている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	主に、日常生活動作の自立を目指し自分で出来る事を増やしてご本人の自信や達成感、ご家族様の心の安心に繋げる事、創作活動を通じて色々な事にチャレンジして頂く機会を設け活動中での児童とコミュニケーションを図りその能力を高める、奉仕活動で近隣の地域住民の皆様の助けを借り適切な挨拶や安全に地域社会に出向く事を支援内容に組み込みを行っている。余裕時間を必ず設け自由にお遊み頂くリラクスタも必ず組み込んでいる	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	活動で選択肢を設けている場合「どちらにしますか？」等の状況に応じた適切な言葉で尋ねる事で、自己決定する力を育むように心掛けている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	児童発達責任者や志s絶管理者を主とした上で児童の個性や適切な支援に長けている職員が参画出来る様に予定を立てて実行するようにしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	当事業所では提携する医療機関が設けられているが、ご契約時に保護者様に行うアセスメント等で必要な連携期間を提携して頂き、主訴に沿った体制を行っている	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	0	0	保護者様のご要望や主訴に沿い、また、移行事業所のご依頼に沿った支援内容等の情報提供を行う様にしている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	0	0	必要に応じ助言や研修を受ける機会を設ける様にしている	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	県内の児童館や福祉施設を活用し地域交流を行っている 機会があれば参加出来る様にしていきたい	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	日々の送迎を通じて些細な事でもお伝えし、今見えてきた課題や状況を共通理解出来る様に務めている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	ペアレントトレーニングになっているかは分からないが、保護者様からのお子様に対するお悩みをやご家庭内で生じたご相談等に迅速に対応に心掛けている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	ご契約時や半年に一度行うモニタリング、受給者証の更新時にお伝えする様にしている		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	ご家族様のご意向、ご利用児童の日々お過ごし頂く中で知り得た要望を尊重する、ご成長に繋げる為の保護者様との会話や電子機器を通じた意見交換で確認する機会を設けている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	支援内容はモニタリングで保護者様としっかり話し合い作成した上で同意を得る、作成後は内容を説明したて同意を得ている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	お悩みやご相談には、その場で支援を行い、適切に対応出来ない状況ではその後の電話等アポイントを保護者様とかわし一日持ち帰り開設後に精通した職員にその旨を共有して迅速な助言や支援を行う様にしている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者会の開催はとてとても好評でした。引き続き実施出来る様関連事業所と協力して行い、保護者様の交流の場を設けられる様支援を行って参ります。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	苦情受付、対応を振り分け迅速かつ適切に対応する様になっています	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	活動内容や児童の様子を写真を主に掲載した広報を発信しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	細心の注意を払い、取り扱いは必要最小限に留めています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	ご家庭に分かりやすいお伝えの仕方を心掛けています	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	近隣住民の方々をご招待する事は出来ていませんが、奉仕活動や周辺のウォーキング等で挨拶を交わすと住民の方から「行ってらっしゃい」「お帰り」「今日も元気ね」等のお声かけを頂いています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	マニュアルの策定しており定期的に訓練を実施しています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的な訓練、その他必要な訓練は職員一同が真剣に取り組み行っています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	保護者様からのご指示に沿い職員全体に周知しており、症状の変化も含めた情報を確認している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	石の指示所は頂いていないが、ご契約時に書面を介してアレルギーとそれに伴う対応方法を保護者様から書面にて頂く事に対応している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	計画の策定をしっかりと行い、ご家族様連携を図り必要な措置を講じることが出来る様心掛け、安全管理に注視した中で支援して行く事を全職員で行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	万全に周知出来ているかは行き届かない面もあると思いますが、ご利用児童の安全確保に関して、些細な事でも迅速に尾後様にご連絡出来る体制を整えている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	ヒヤリハットは重要で、事案が生じた際は「どうかな？」と考えてしまう事でも記録し職員間の共有を怠らない様に務めている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	堅守を行い検討し意見を交わす事で防止策、適切な対応の統一を目指している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	同意書で組織的に同意を得ている 個別支援計画書にも記載し、十分なご説明を行ったうえで保護者様に更に同意して頂いている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	組織的に決定し十分な説明を事前に行い、ご理解した上で同意を頂いている。また、個別支援計画書への記載もされている。		